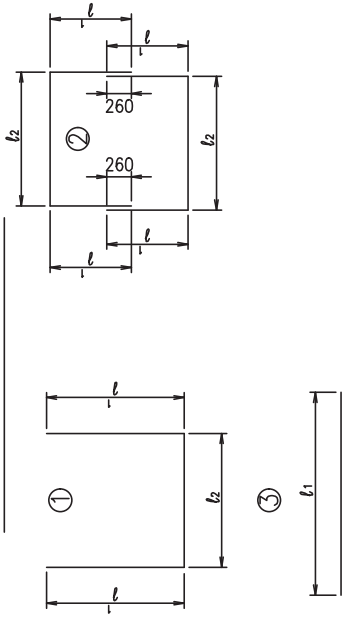


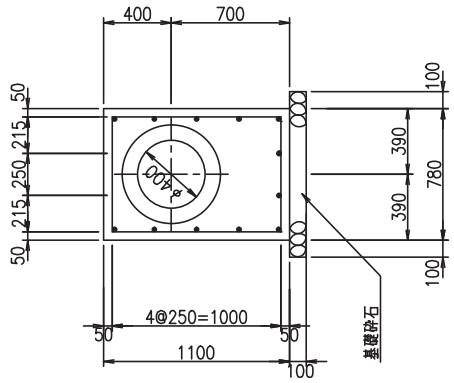
Ⅱ 制水弁保護ブロック標準図集

配筋加工図



番号	径	l ₁	l ₂	小計	本数	計
①	D13	1,000	680	2,680	2	5,360
②	"	630	680	1,940	4	7,760
③	"	680	680	680	12	8,160
ΣL = 21,280 mm				ΣW =	21	kg
コンクリート体積 (m ³)				0.55		
砕石面積 t=10cm (m ²)				0.96		
型枠面積 (m ²)				3.13		

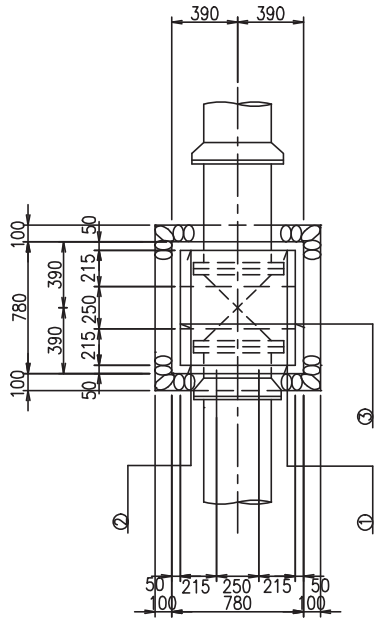
断面図



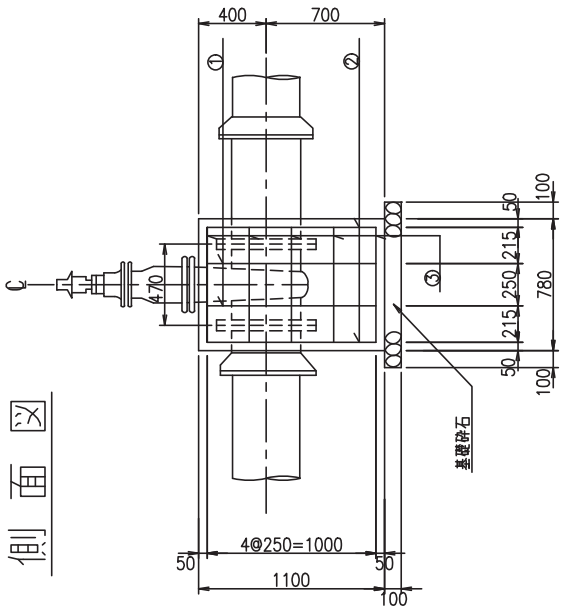
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に碾压すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

制水弁保護ブロック標準図
 φ400
 (単位mm)

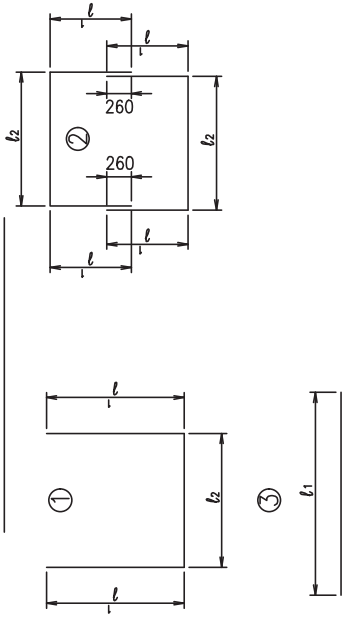
平面図



側面図

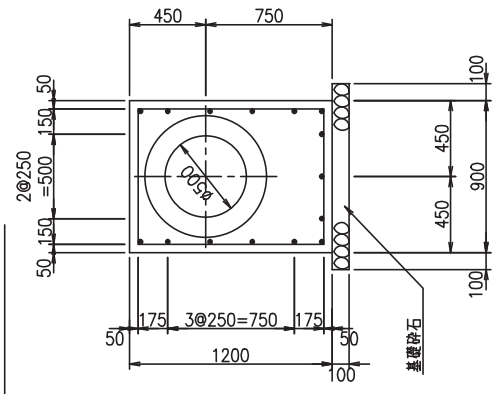


配筋加工図



番号	径	l ₁	l ₂	小計	本数	計
①	D13	1,100	800	3,000	3	9,000
②	"	680	800	2,160	4	8,640
③	"	800	800	800	15	12,000
ΣL = 29,640 mm				ΣW = 29	kg	
コンクリート体積 (m ³)				0.77		
砕石面積 t=10cm (m ²)				1.21		
型枠面積 (m ²)				3.88		

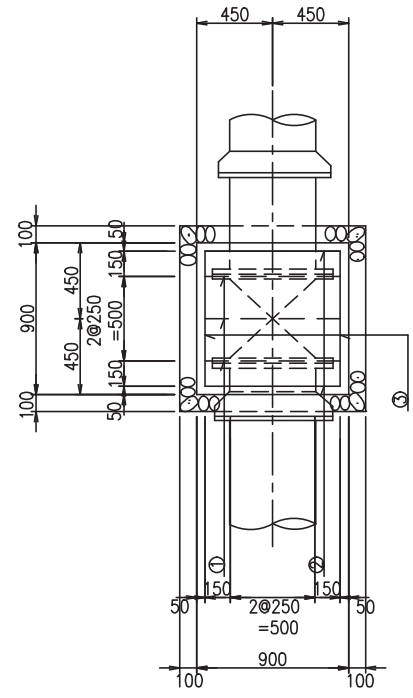
断面図



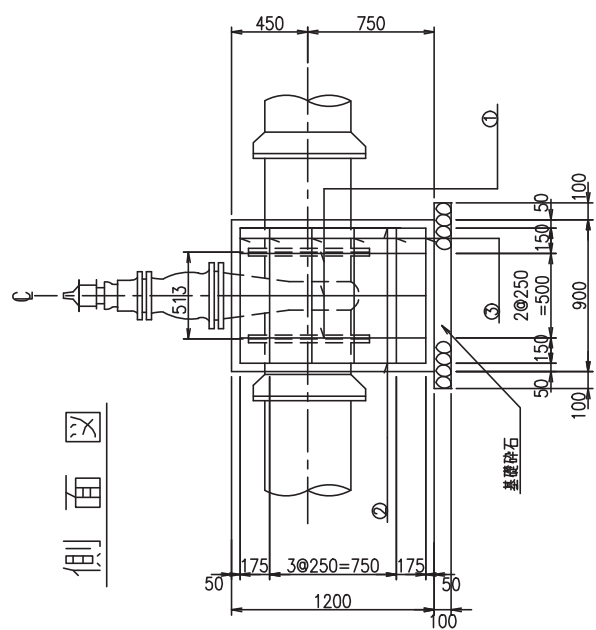
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に圧縮すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎砕石による不同沈下対策を講じること。

制水弁保護ブロック標準図
 φ500
 (単位mm)

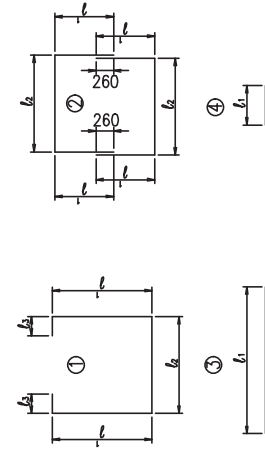
平面図



側面図

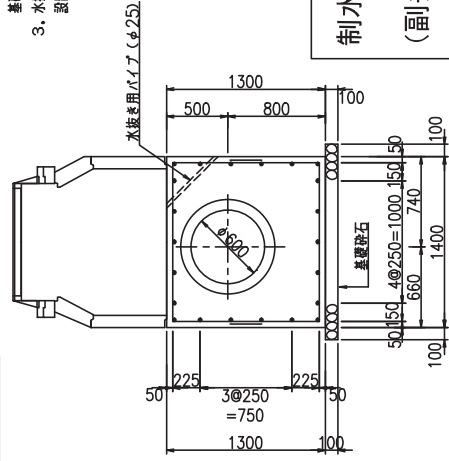


配筋加工図

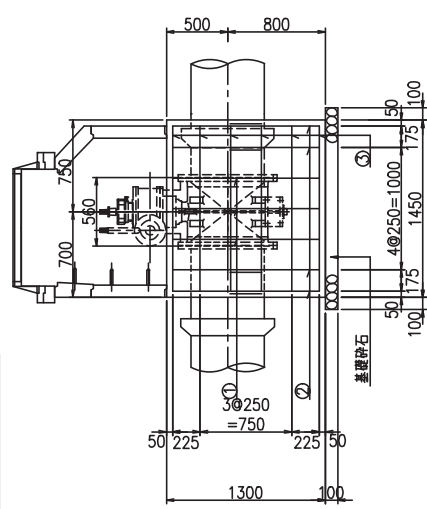


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	1,200	1,300	150	4,000	3	12,000
②	"	730	1,300		2,760	8	22,080
③	"	1,350			1,350	19	25,650
④	"	175			175	6	1,050
		ΣL = 60,780 mm			ΣW = 60 kg		
		コンクリート体積 (m ³)		2.19			
		砕石面積 t=10cm (m ²)		2.84			
		型枠面積 (m ²)		6.79			

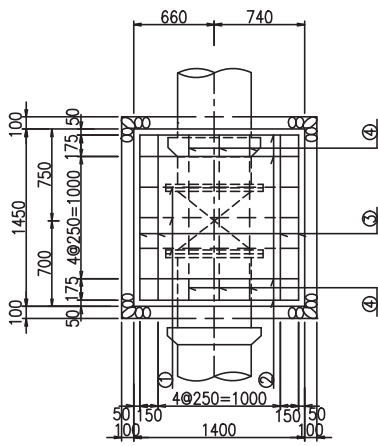
断面図



側面図



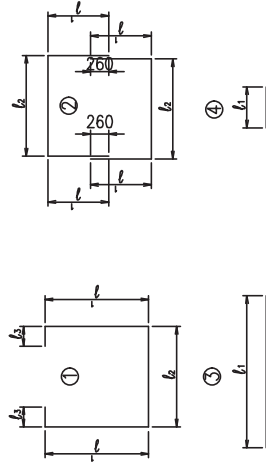
平面図



制水弁保護ブロック標準図
φ600
(副弁内蔵式バタフライ弁)
(単位mm)

- (注) 1. 砕石は数を均し後、十分に密圧すること。
 2. 地盤が不平等で、十分な地盤力が期待できないときは、基礎砕石による不平等下対策を講じること。
 3. 水抜きパイプについては、地下水位等を確認の上、設置すること。

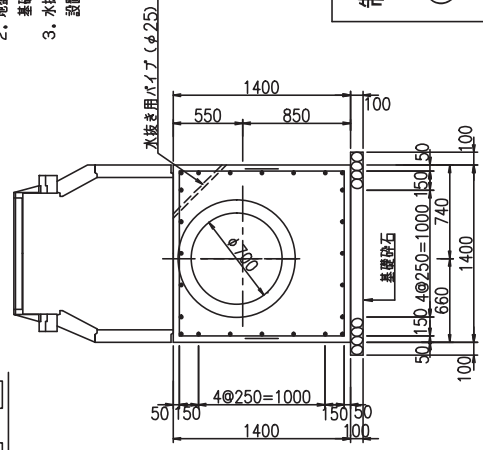
配筋加工図



番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	1,300	1,300	150	4,200	3	12,600
②	"	780	1,300		2,860	8	22,880
③	"	1,350			1,350	21	28,350
④	"	175			175	6	1,050
ΣL =		64,880 mm			ΣW =	65	kg
コンクリート体積		(m ³)				2.23	
砕石面積 t=10cm		(m ²)				2.64	
型枠面積		(m ²)				7.14	

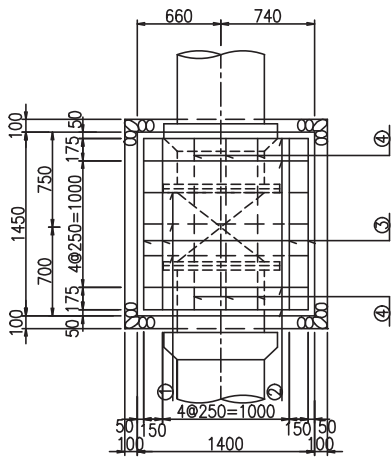
断面図

- (注) 1. 砕石は締め均し後、十分に転圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。
 3. 水抜きパイプについては、地下水位等を確認の上、設置すること。

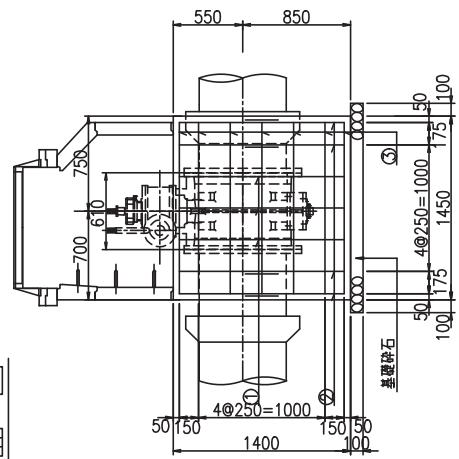


制水弁保護ブロック標準図
 φ700
 (副弁内蔵式バタフライ弁)
 (単位mm)

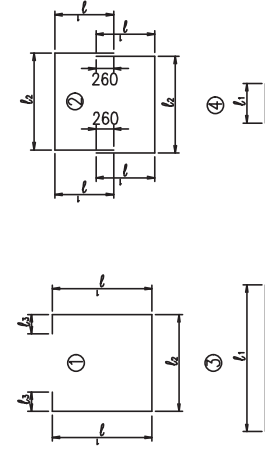
平面図



側面図

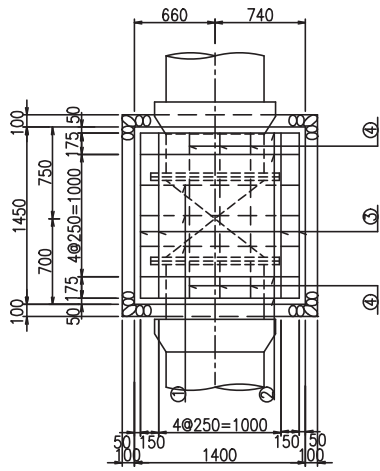


配筋加工図

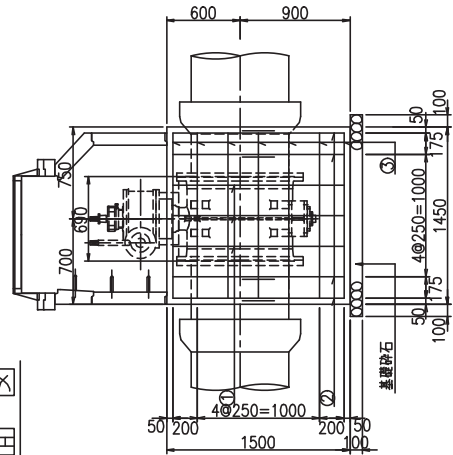


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	1,400	1,300	150	4,400	3	13,200
②	"	830	1,300		2,960	8	23,680
③	"	1,350			1,350	21	28,350
④	"	175			175	6	1,050
ΣL =		66,280 mm		ΣW =	66 kg		
コンクリート体積		(m ³)		2.25			
砕石面積		t=10cm (m ²)		2.64			
型枠面積		(m ²)		7.45			

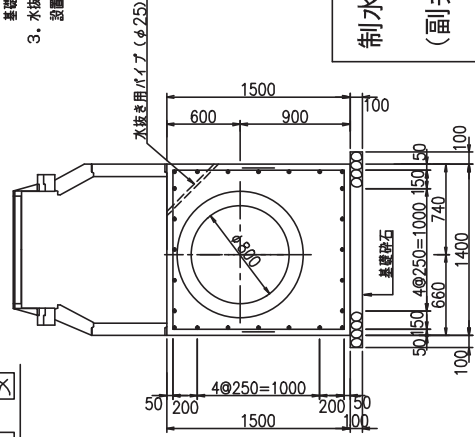
平面図



側面図



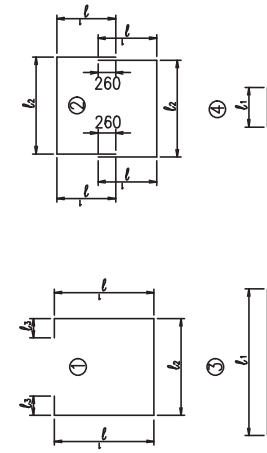
断面図



- (注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に碾压すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎砕石による不同沈下対策を講じること。
 3. 水抜きパイプについては、地下水位等を確認の上、設置すること。

制水弁保護ブロック標準図
 φ800
 (副弁内蔵式バタフライ弁)
 (単位:mm)

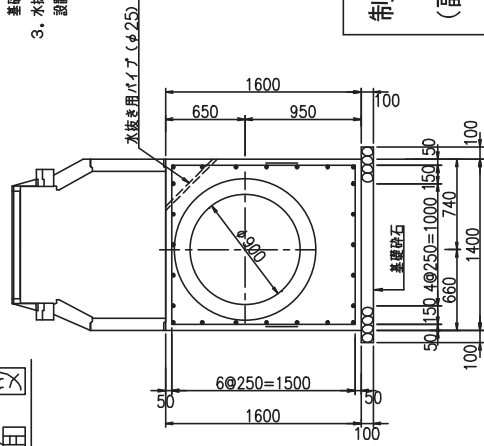
配筋加工図



番号	径	l_1	l_2	l_3	小計	本数	計
①	D13	1,500	1,300	150	4,600	3	13,800
②	"	880	1,300		3,060	8	24,480
③	"	1,350			1,350	21	28,350
④	"	175			175	6	1,050
$\Sigma L =$		67,680 mm		$\Sigma W =$	67 kg		
コンクリート体積		(m ³)		2.25			
砕石面積 $t=10\text{cm}$		(m ²)		2.64			
型枠面積		(m ²)		7.74			

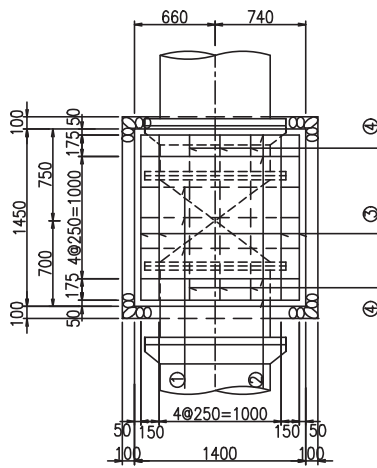
- (注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎等による不図如下対策を講じること。
 3. 水抜きパイプについては、地下水位等を確認の上、設置すること。

断面図

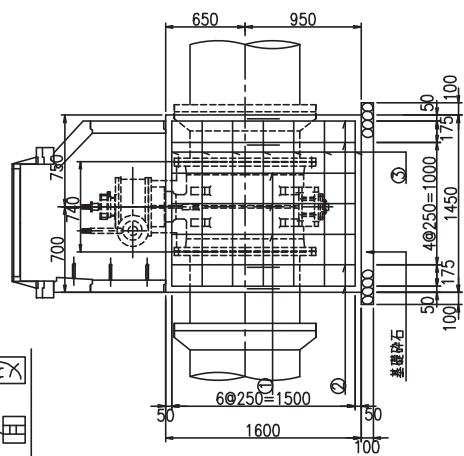


制水弁保護ブロック標準図
 φ900
 (副弁内蔵式バタフライ弁)
 (単位mm)

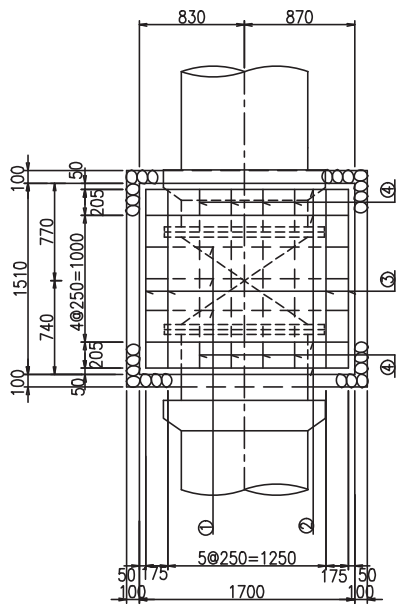
平面図



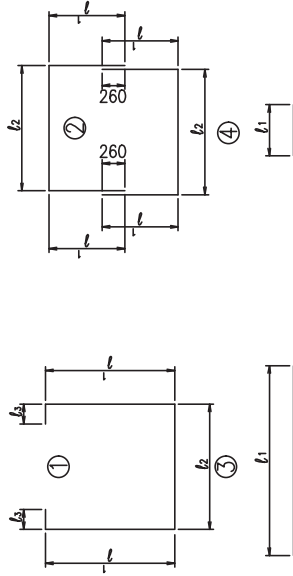
側面図



平面図

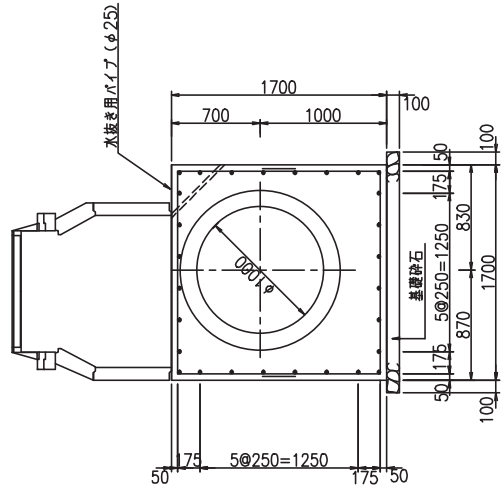


配筋加工図



番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	1,600	1,600	175	5,150	3	15,450
②	"	930	1,600		3,460	8	27,680
③	"	1,410			1,410	24	33,840
④	"	205			205	8	1,640
ΣL = 78,610 mm					ΣW =	78 kg	
コンクリート体積 (m ³)						3.08	
砕石面積 t=10cm (m ²)						3.25	
型枠面積 (m ²)						9.21	

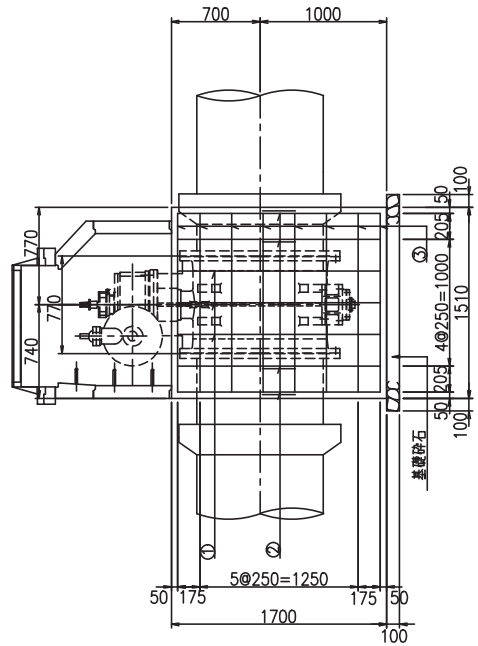
断面図



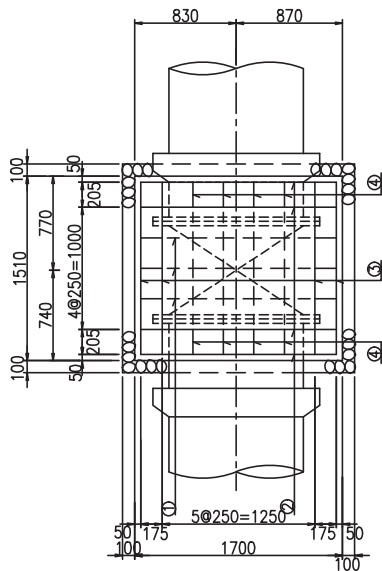
- (注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
 2. 地盤が不固等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。
 3. 水抜きパイプについては、地下水位等を確認の上、設置すること。

制水弁保護ブロック標準図
 φ1000
 (副弁内蔵式バタフライ弁)
 (単位mm)

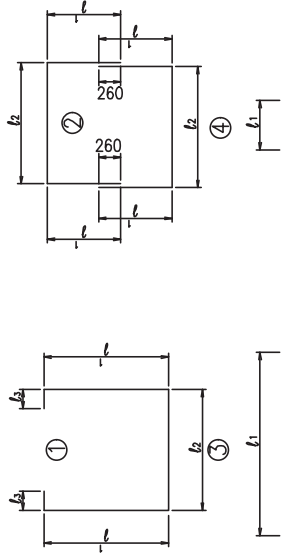
側面図



平面図

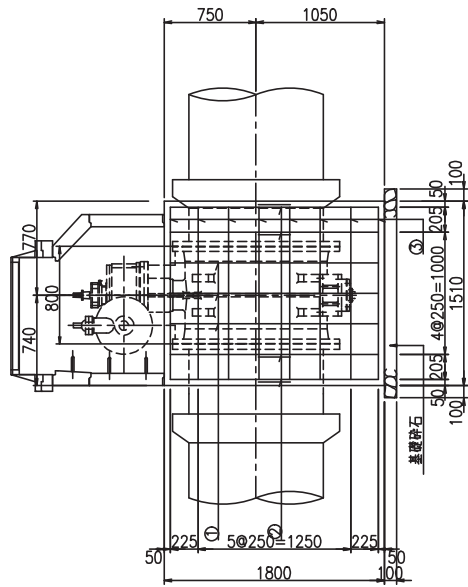


配筋加工図

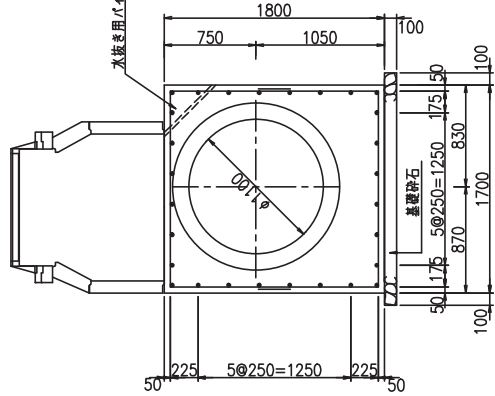


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	1,700	1,600	175	5,350	3	16,050
②	"	980	1,600		3,560	8	28,480
③	"	1,410			1,410	24	33,840
④	"	205			205	8	1,640
ΣL = 80,010 mm		ΣW = 80 kg					
コンクリート体積 (m ³)		3.08					
砕石面積 (t=10cm) (m ²)		3.25					
型枠面積 (m ²)		9.52					

側面図



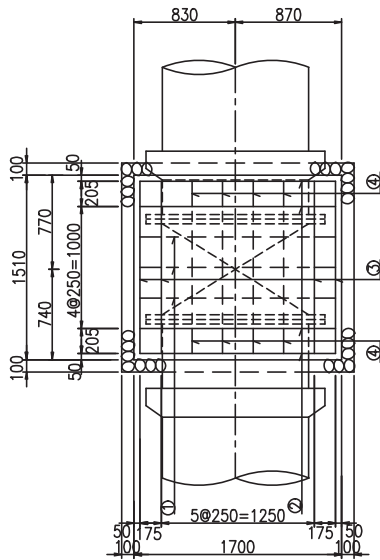
断面図



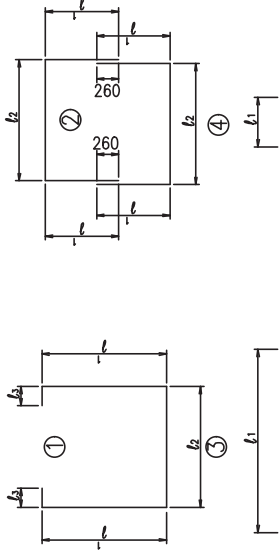
- (注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
 2. 地盤が不安等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。
 3. 水抜きパイプについては、地下水位等を確認の上、設置すること。

制水弁保護ブロック標準図
 φ1100
 (副弁内蔵式バタフライ弁)
 (単位mm)

平面図

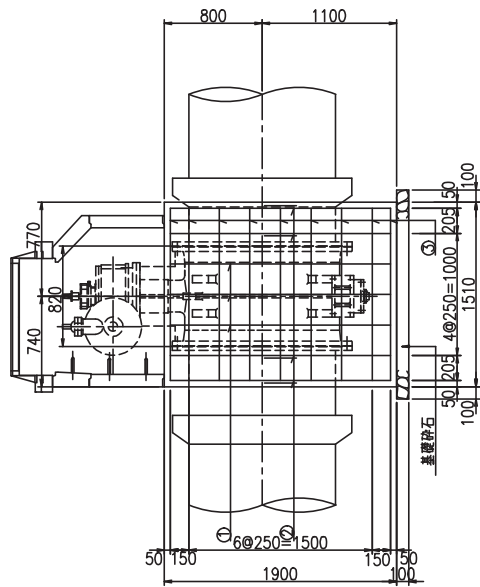


配筋加工図

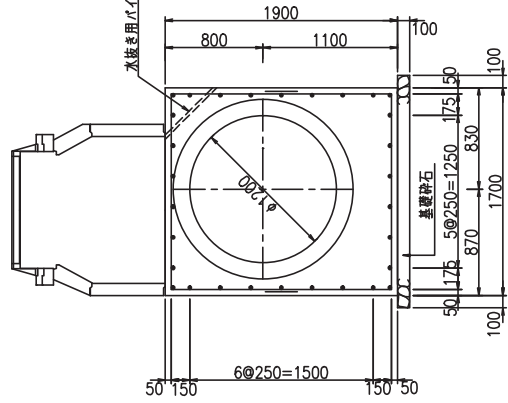


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	1,800	1,600	175	5,550	3	16,650
②	"	1,030	1,600		3,660	8	29,280
③	"	1,410			1,410	26	36,660
④	"	205			205	8	1,640
ΣL = 84,230 mm					ΣW =	84 kg	
コンクリート体積 (m ³)						3.02	
砕石面積 t=10cm (m ²)						3.25	
型枠面積 (m ²)						9.74	

側面図



断面図

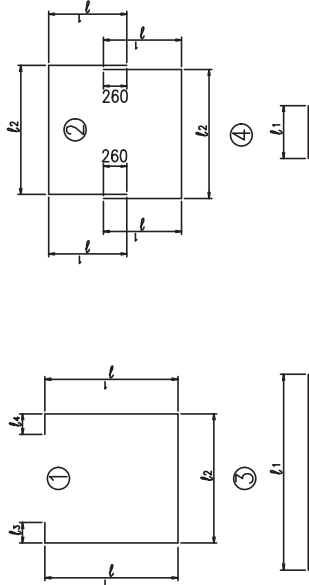


- (注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に振圧すること。
 2. 地震が不安等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。
 3. 水抜きパイプについては、地下水位等を確認の上、設置すること。

図 1-34

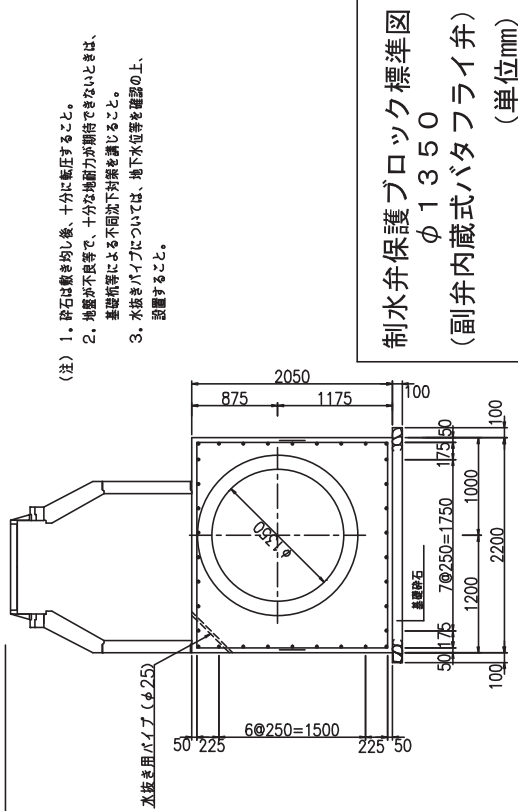
制水弁保護ブロック標準図
 φ1200
 (副弁内蔵式バタフライ弁)
 (単位mm)

配筋加工図

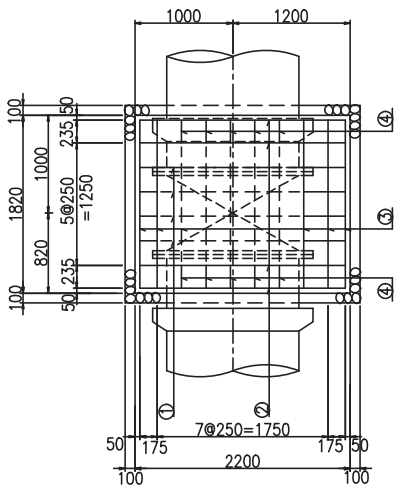


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄	小計	本数	計
①	D13	1,950	2,100	175	425	6,600	4	26,400
②	"	1,105	2,100			4,310	8	34,480
③	"	1,720				1,720	29	49,880
④	"	235				235	10	2,350
ΣL = 113,110 mm						ΣW =	113	kg
コンクリート体積 (m ³)							5.41	
砕石面積 (L=10cm) (m ²)							4.85	
型枠面積 (m ²)							13.40	

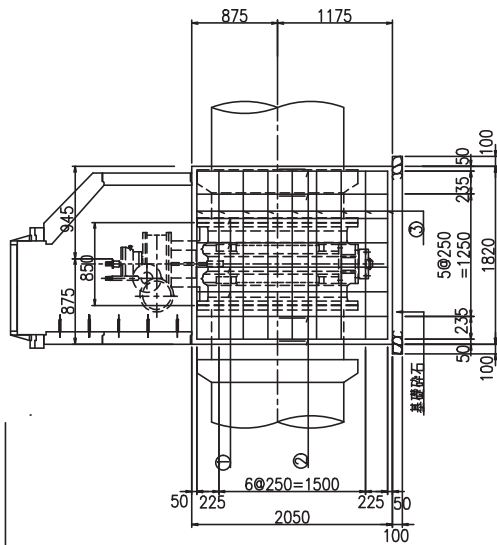
断面図



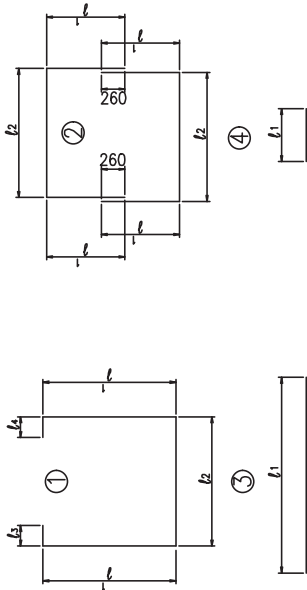
平面図



側面図

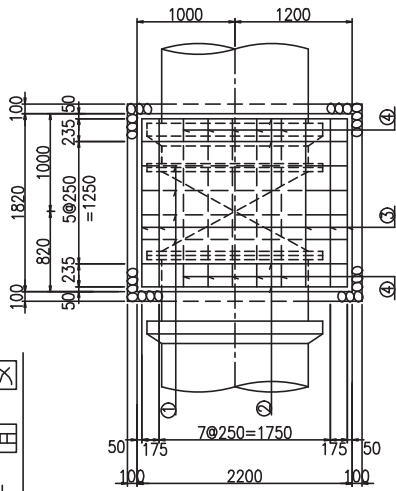


配筋加工図

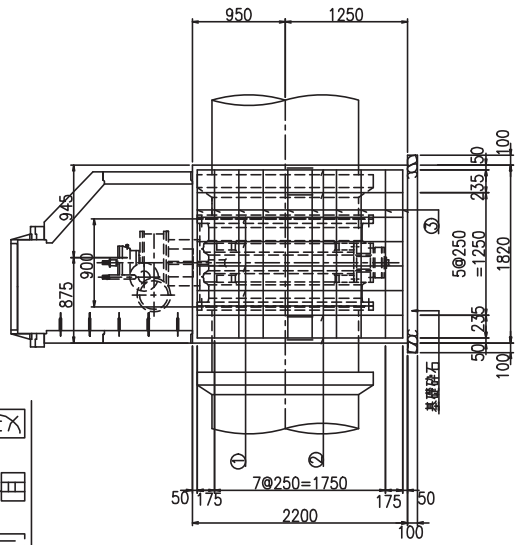


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄	小計	本数	計
①	D13	2,100	2,100	175	425	6,900	4	27,600
②	"	1,230	2,100			4,560	8	36,480
③	"	1,720				1,720	31	53,320
④	"	235				235	10	2,350
ΣL = 119,750 mm						ΣW =	119	kg
コンクリート体積 (m ³)							5.37	
砕石面積 (m ²)							4.85	
型枠面積 (m ²)							13.91	

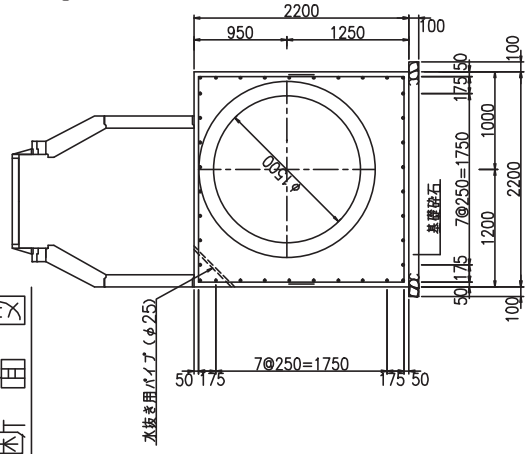
平面図



側面図



断面図



- (注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に密圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎筋等による不同沈下対策を講じること。
 3. 水抜きパイプについては、地下水位等を確認の上、設置すること。

制水弁保護ブロック標準図
 φ1500
 (副弁内蔵式バタフライ弁)
 (単位mm)